

政策番号	6	政策分野	文化
------	---	------	----

基本方針	くらしのなかに文化芸術がいいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。
------	--

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020
---------------------	-------------------------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	26 年度	27 年度	28年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	市民ふれあいステージ出演申込数(件)	103	—	d	c	92	94	103	91.3%	c
2	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)	77	82	a	a	90	53	82	64.6%	e
3	文化施設の年間入場者数(人)	3,125,718	—	c	e	3,024,215	4,401,124	3,399,819	129.5%	a
4	本市が指定、登録した文化財の数(件)	7	—	c	c	6	8	7	114.3%	a
				c	c					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	26年度	27年度	28年度
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり(2指標)	b	e	b
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援(3指標)	d	b	c
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上(2指標)	a	a	a
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承(3指標)	b	c	a
(4施策平均)		b	c	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)		26年度	27年度	28年度
		c	c	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		26年度	27年度	28年度
1	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	a	a
2	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	c	c	b
3	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	b	b	b
4	文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。	b	b	b
政策の市民生活実感調査総合評価		b	b	a

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

26年度		27年度		28年度	
順位	%	順位	%	順位	%
19	81.6%	18	78.7%	19	78.9%

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		27年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
【総括】 ・京都のまち全体として、文化芸術活動が着実に根付いてるものの、文化芸術が日々の暮らしの中に浸透しており、この政策の目的は、十分に達成されていると評価する。市民自身がより身近に感じ、実際に活動などに参加してもらえるよう、更に取組を進めることが重要であるとする。		26年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		26	27	28
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	B	C	B
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	C	B	B
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	A	A	A
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	B	C	A

<今後の方向性>

①すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり

・文化庁の全面的な移転の決定を踏まえ、文化を基軸としたまちづくりをこれまで以上に推進し、世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指すため、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。

②歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援

・継承と創造に関する人材の育成においては、伝統芸能文化のさらなる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。

③世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上

・ロームシアター京都を拠点に、新たな文化創造の場として世界文化自由都市・京都を発信する「文化の殿堂」として取組を進める。

④かけがえのない文化財の保護、活用と伝承

・かけがえのない文化財の保護、活用と伝承に向け、引き続き、指定・登録の対象物件調査に取り組む。

政策名	6	文化										
指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）											
担当部屋	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3									
1 指標の説明												
市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数												
2 指標の意味		3 算出方法・出典等										
文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ										
4 数値												
10年後(平成32年度)の目標値	平成23年度評価値 103	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す									
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	単年度目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	92	94	2件増	103	過去5年間（平成22～26年度）の最高値（平成22年度）	91.3%						
	全国順位	中長期目標			備考	H22 103件 （H23は国民文化祭に集約されたため非開催） H24 80件、H25 86件 H26 92件						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果								
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：上中間値（最高値と平均値の間）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低値の間）以上～平均値未満 e：下中間値未満		申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：103（平成22年度） 平均値：90 最低値：80（平成24年度）		<table><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>d</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>			26	27	28	d	c	c
26	27	28										
d	c	c										

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）											
担当部屋	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3									
1 指標の説明												
京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数												
2 指標の意味		3 算出方法・出典等										
文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標		出典：事業担当課調べ										
4 数値												
10年後(平成32年度)の目標値	平成23年度評価値 77	平成32年度目標値 82	根拠 平成24年度～26年度実績の平均値を目指す（京プラン実施計画第2ステージ）									
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	単年度目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	90	53	37人減少	82	平成24年度～26年度実績の平均値	64.6%						
	全国順位	中長期目標			備考	H24 72件、H25 85件 H26 90件						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果								
単年度目標値に対する達成度が a:100%以上 b:90%以上100%未満 c:80%以上90%未満 d:70%以上80%未満 e:70%未満		達成度100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定		<table><tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>e</td></tr></table>			26	27	28	a	a	e
26	27	28										
a	a	e										

政策名	6	文化	
指標名	文化施設の年間入場者数（人）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
1 指標の説明			
文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ	
4 数値			
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 3,125,718	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す
	前回数値 26年度 3,024,215	最新数値 27年度 4,401,124	推移 1,376,909人増
数値	3,024,215	4,401,124	1,376,909人増
	単年度目標値 数値 3,399,819	根拠 過去5年間（平成22～26年度）の最高値（平成23年度）	達成度 129.5%
	全国順位	中長期目標 数値 目標年次 達成度 根拠	備考 H22 3,125,718人 H23 3,399,819人 H24 2,931,984人 H25 3,304,860人 H26 3,024,215人
数値			
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が，過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		利用者数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。 最高値：3,399,819（平成23年度） 平均値：3,157,319 最低値：2,931,984（平成24年度）	
7 評価結果			
26	27	28	
c	e	a	

指標名	本市が指定，登録した文化財の数（件）		
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 1 4 9 8
1 指標の説明			
本市が指定，登録した文化財の数			
2 指標の意味		3 算出方法・出典等	
かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		算出方法：事業担当課調べ 出典：京都市教育委員会告示	
4 数値			
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 7	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度の指定，登録文化財件数の最高値を目指す
	前回数値 26年度 6	最新数値 27年度 8	推移 2件増
数値	6	8	2件増
	単年度目標値 数値 7	根拠 過去5年間（平成22～26年度）の最高数値（平成22年度）	達成度 114.3%
	全国順位	中長期目標 数値 目標年次 達成度 根拠	備考 H22 7件，H23 6件 H24 6件，H25 6件 H26 6件
数値			
5 評価基準		6 基準説明	
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～平均値超 c：平均値 d：最低値以上～平均値未満 e：最低値未満		指定・登録件数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに，基準値を設定した。 最高値：7件（平成22年度） 平均値：6.2件 最低値：6件（平成23～26年度）	
7 評価結果			
26	27	28	
c	c	a	